

漁海況速報

No.1

平成18年1月6日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①親潮系冷水の勢力は弱い。本県沖距岸10海里より沖合は広く12~14°C台に広く覆われている。
- ②黒潮系暖水の勢力は表面では弱く、目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜・松川浦で平年より2°C低く、大熊では平年より3°C低い。

見通し（1週間）

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願ひいたします。

一 「漁海況速報」について

・海況図について

表面水温データは、原則として発行日前一週間分の船舶による実測水温（航走）を用いていますが、実測水温が少ない場合は人工衛星による水温値を参考にしています。

・定地水温

小名浜…みさき公園下からの揚水を計測（午前9時）
大熊…第一原発取水口からの揚水を計測（午前9時）
松川浦…湾口部の表面を計測（午前10時）
広野沖…広野地先約40kmの水深5mで測定（午前7時）

・漁況概況について

データ期間…原則として、発行日前週の木曜日から、
その週の水曜日までです。

整理方法…各漁協について漁業種類ごとに集計し、
水揚金額の多い漁獲物順に掲載しています。
(ご不明な点は、水試漁業部までお問い合わせください)

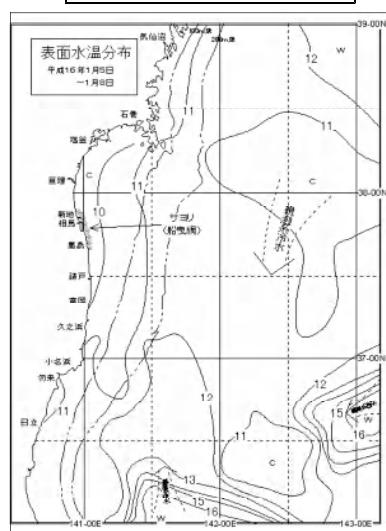
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

場所 月日	小 名 浜	大 熊	松 川 浦	広 野 沖
12/26	11.0	10.3	—	12.9
12/27	9.7	10.0	—	12.9
12/28	9.2	9.6	—	12.8
1/4	9.7	8.0	6.6	12.1
1/5	9.3	7.8	6.1	12.0

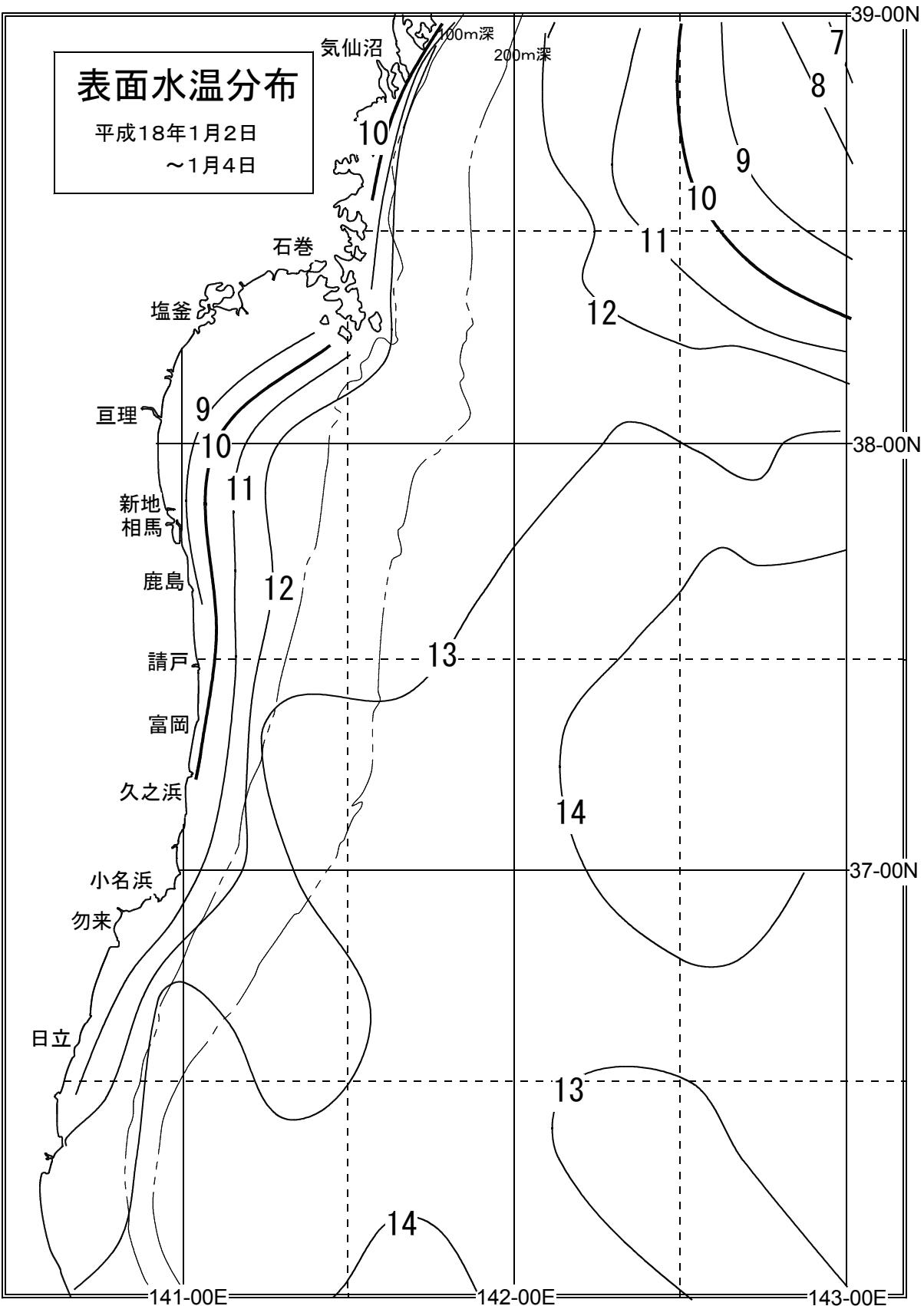
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



同時期休刊のため
該当する海況図は
ございません。

表面水温分布

平成18年1月2日
~1月4日



漁海況速報

No.2

平成18年1月13日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の勢力は弱い。先週よりやや降溫し、本県沖は11~13°C台に覆われた。

②黒潮系暖水の勢力は表面では弱く、目立った波及はみられない。

③定地水温は、小名浜、大熊で平年より2°C、松川浦で平年より1°C低い。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報（シラス）

・昨年のシラスの水揚状況についてお知らせいたします。水揚量、金額、単価は以下のとおりでした。

年間累計のシラス水揚げ比較

平成17年			平成16年		
数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)	数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)
1,704,835	618,464	363	40,899	27,159	664

過去10年平均			平成17年/過去10年		
数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)	数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)
579,415	218,743	378	294.2%	282.7%	96.0%

・昨年は7月下旬頃よりまとまった水揚がみられ始め、8月に本格化して以降例年の2.5~3倍程度の水揚で推移しました。年累計では数量・金額ともに過去10年平均水揚量の約3倍となり、ここ10年で最も好漁であった2001年を上回る水揚となりました。

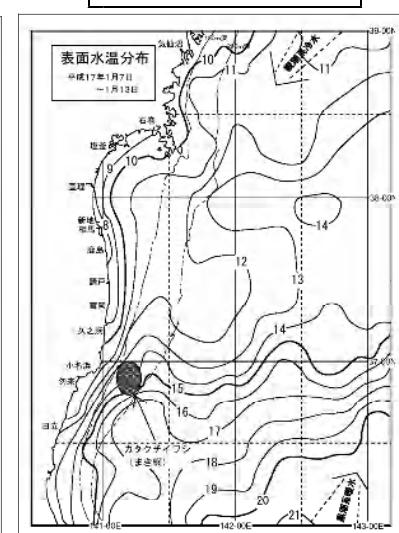
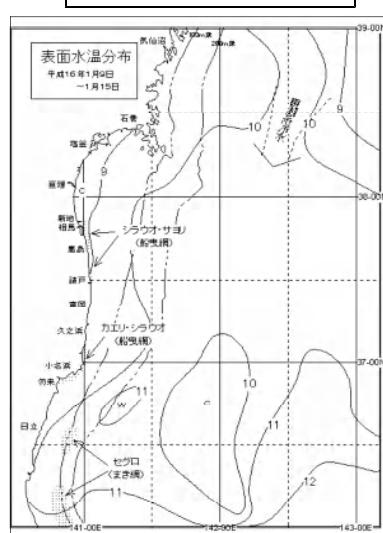
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

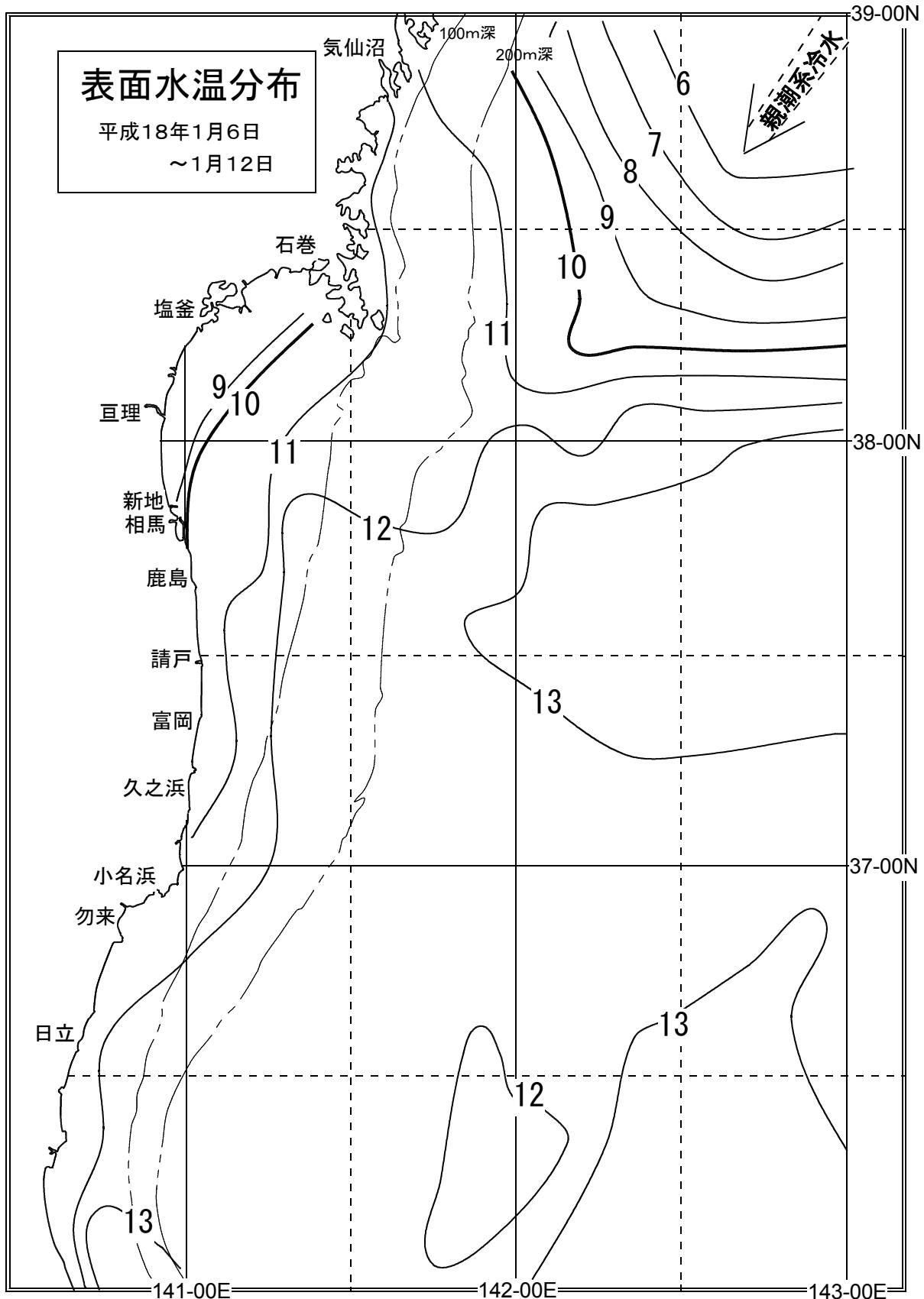
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/6	9.0	8.0	6.4	12.0
1/9	—	—	—	12.0
1/10	9.8	8.2	6.7	11.8
1/11	9.8	10.2	6.2	11.5
1/12	9.4	10.1	6.5	11.4

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



表面水温分布

平成18年1月6日
～1月12日



漁海況速報

No.3

平成18年1月20日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①親潮系冷水の勢力は弱い。本県沖は広く10~13°C台に覆われている。
- ②黒潮系暖水の勢力は表面では弱く、目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦いずれも平年より1°C低い。

見通し（1週間）

- ・親潮系水、黒潮系水とも現状並みに勢力は弱く、気温の低下に伴い、水温は低下するものと思われる。

平成18年1月海洋観測結果

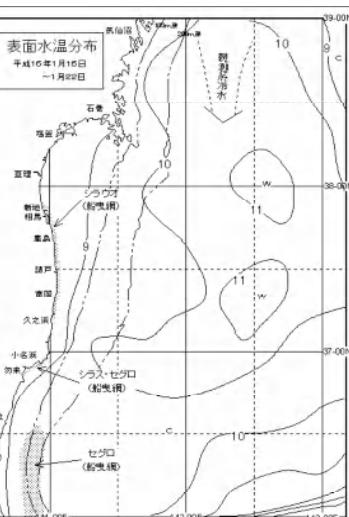
- ・平成18年1月17日~19日に「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。
- ・各定線の表面、100m深水温とも平年並みでした。

(単位: °C)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	12.16	+ 1.82	- 0.91
	富岡	11.89	+ 2.16	- 0.33
	鵜ノ尾	10.93	+ 1.60	- 0.91
100m深	塩屋	12.14	+ 2.21	+ 0.28
	富岡	12.28	+ 2.79	+ 0.55
	鵜ノ尾	11.71	+ 3.04	- 0.91

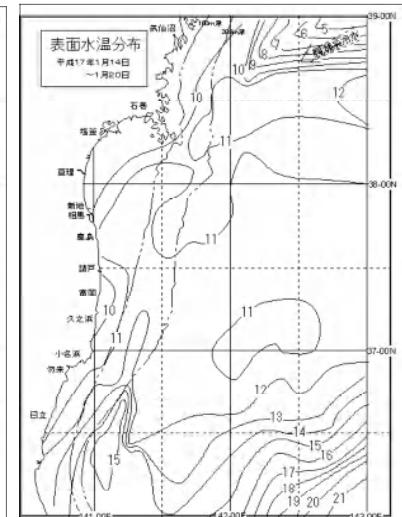
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水とも目立った波及はなく、また、表層から100m深以深までほぼ同じ水温のきわめて単調な海況でした。

平成16年同期



平成17年同期



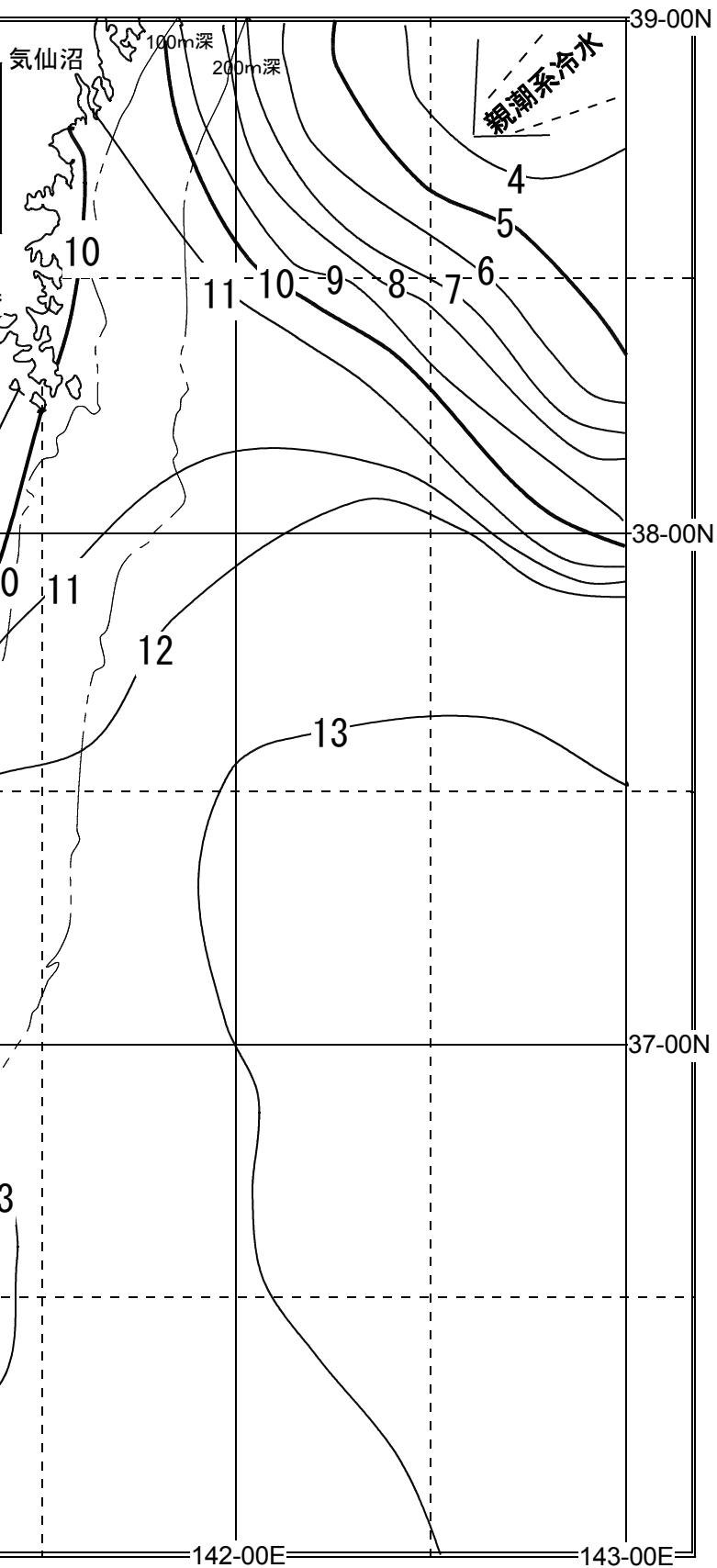
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/13	9.0	9.8	6.3	11.2
1/16	10.0	9.5	7.2	11.6
1/17	10.2	9.3	7.1	11.4
1/18	9.6	9.6	7.2	11.6
1/19	9.5	9.8	6.7	11.4

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年1月15日
～1月19日



漁海況速報

No.4

平成18年1月27日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の勢力は弱い。本県沖距岸10海里より沖合は広く10~12°C台に広く覆われている。

②黒潮系暖水の勢力は表面では弱く、目立った波及はみられない。

③定地水温は、小名浜で平年より2°C低く、大熊では平年並み、松川浦で平年より1°C低い。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

一コウナゴ漁期前調査速報

・調査船「拓水」で1月24~26日に鵜ノ尾、請戸、小名浜の3定線において丸稚ネットによる調査を行ないました。その結果は以下のとおりです。

	鵜ノ尾		請戸		小名浜	
	採集尾数	全長モード	採集尾数	全長モード	採集尾数	全長モード
水深10m	400	5mm	0		600	6mm
2マイル	600	5mm	3,100	5mm	200	5.6mm
4マイル	200	5mm	1,600	5mm	200	7mm
6マイル	900	5mm	200	5mm	200	8mm
8マイル	1,200	4.7,8mm	300	7mm	600	7mm
10マイル	800	8mm	50	3mm	1,100	6mm
12マイル	200	7mm	30	5mm	900	6mm
14マイル	800	8mm	80	7mm	—	—

採集尾数…尾数/5分曳き

・昨年に比べると採集尾数はやや少なくなっていますが、全域に稚魚が見られたこと、昨年より調査時期が早かったにもかかわらず、サイズが大きいことが特徴です。

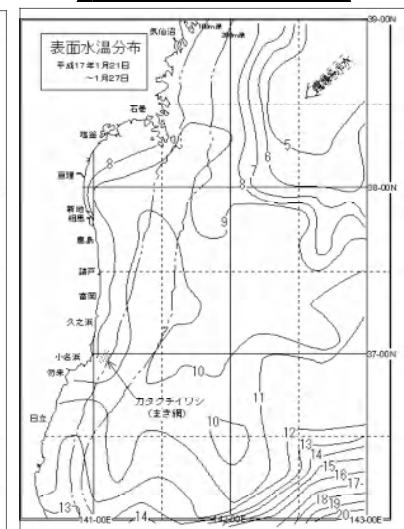
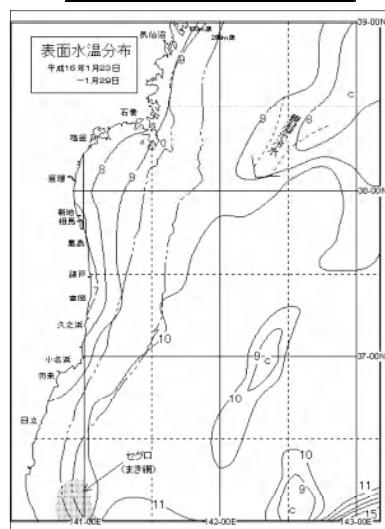
・今後も「拓水」の中層トロールで調査を継続して行ないます。

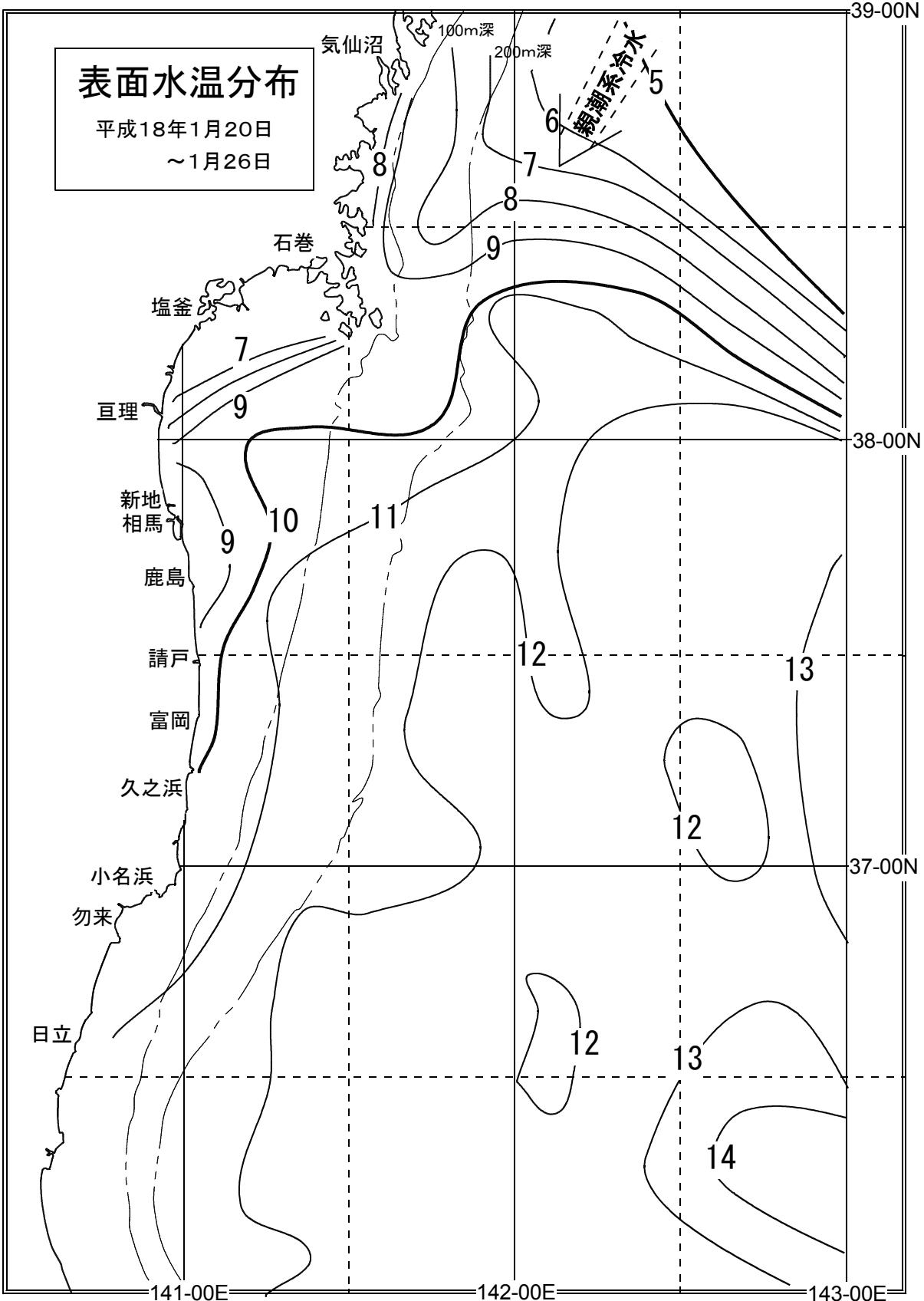
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/20	8.7	9.8	6.0	11.6
1/23	8.4	9.2	6.5	10.8
1/24	8.5	9.0	6.7	10.7
1/25	8.4	9.0	6.4	10.8
1/26	8.6	10.0	6.4	11.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)





漁海況速報

No.5

平成18年2月3日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①北よりの強い親潮系冷水の波及が本県北部海域沖距岸60~70海里にみられる。
- ②黒潮系暖水による目立った高水温はみられず、本県中南部沖は広く11~12°C台に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜・大熊では平年より1°C低く、松川浦では平年並み。

見通し（1週間）

- ・親潮系冷水の南下に伴い低水温の波及がみられるでしょう。

漁況情報（ホッキガイ）

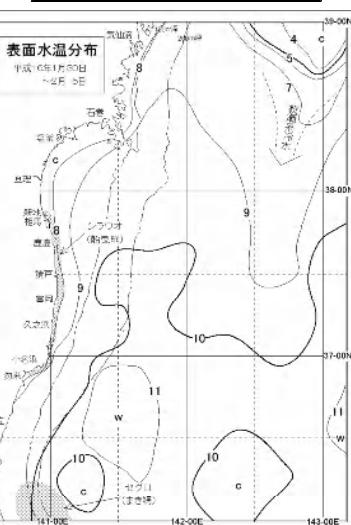
1月末をもって終漁となりましたホッキガイの、今漁期の漁況情報をお知らせします。

今漁期の水揚は以下のとおりでした。

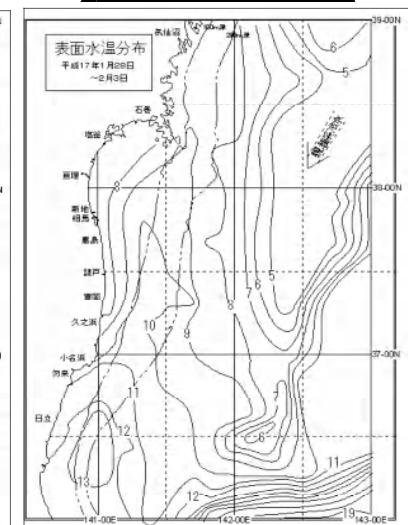
	平成17年			平成16年			昨年比		
	数量(t)	金額(千円)	単価(kg/円)	数量(t)	金額(千円)	単価(kg/円)	数量(kg)	金額(千円)	単価(kg/円)
沼之内	331	11,837	357	461	12,447	270	72.0%	95.1%	132.2%
四倉	241	59,196	246	231	55,797	241	104.0%	106.1%	102.1%
久之浜	96	28,095	293	130	26,633	204	73.7%	105.5%	143.6%
富熊	1	444	425	1	540	383	74.1%	82.2%	111.0%
舘戸	95	44,544	470	149	64,884	438	64.0%	68.7%	107.3%
鹿島	57	22,382	390	82	31,527	383	69.6%	71.0%	101.8%
磯部	120	55,832	467	263	107,077	407	45.5%	52.1%	114.7%
相馬原釜	44	22,134	498	97	41,315	427	46.0%	53.6%	116.6%
合計	687	244,464	356	999	340,220	340	68.8%	71.9%	104.7%

昨年と比較して水揚量は68.8%と減少しており、ここ数年減少傾向が続いております。これは、現在の漁獲対象は平成5~6年に発生したものが主であるため、高齢になるに従い徐々に資源量が減少しているためとみられます。一方、平成15年に県内全域で発生した稚貝はその成長の様子から、来漁期に本格的に漁獲加入するものと期待されます。

平成16年同期



平成17年同期



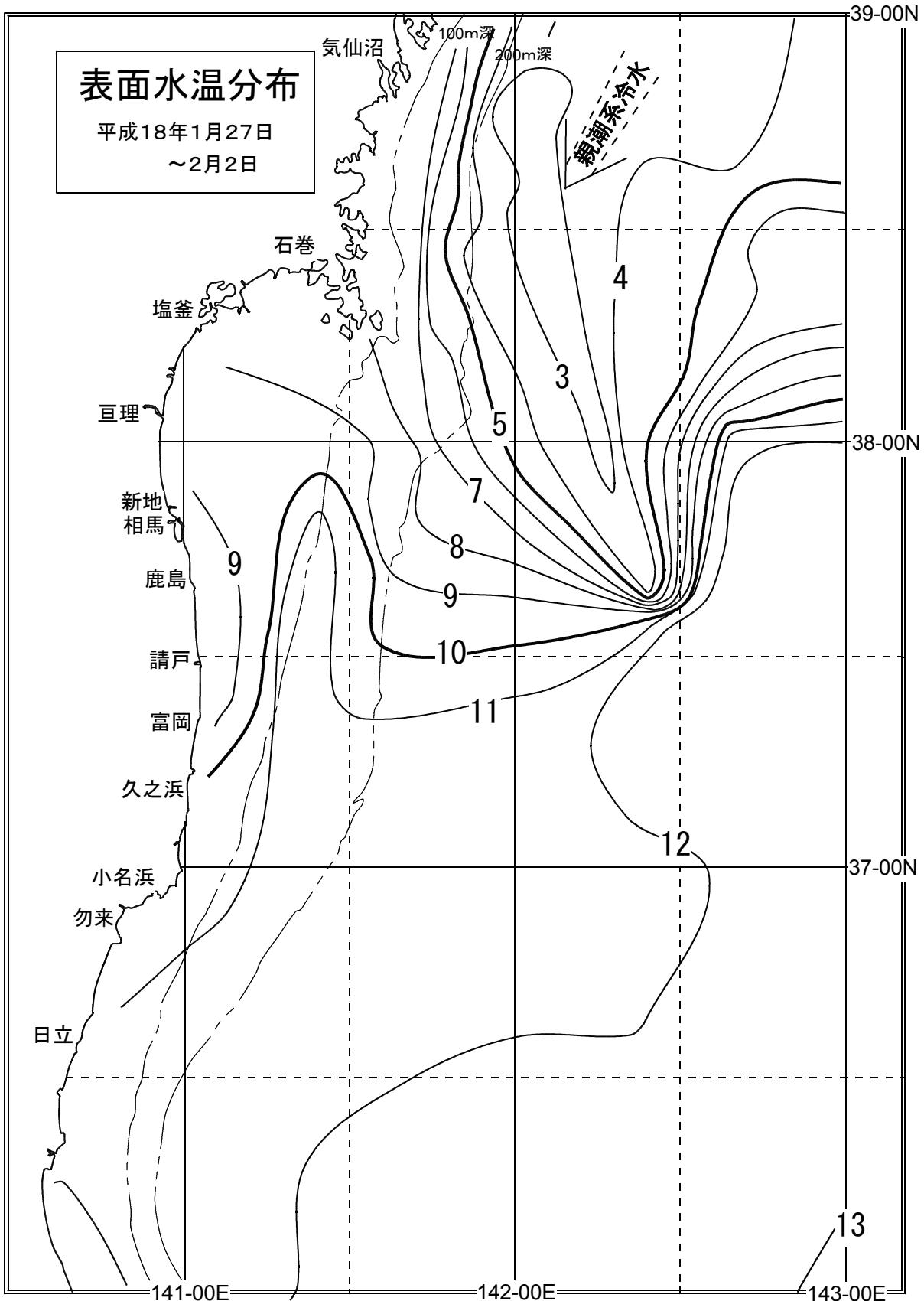
定地・定点水温の推移(°C)

場所 月日	小 名 浜	大 熊	松 川 浦	広 野 沖
1/27	8.4	9.5	5.9	11.2
1/30	9.5	8.5	6.4	10.5
1/31	9.8	8.6	6.6	10.5
2/1	9.4	8.9	6.8	10.6
2/2	9.8	7.7	6.3	9.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年1月27日
~2月2日



漁海況速報

No.6

平成18年2月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮第1分枝の南下が本県沖にもみられ、距岸30~70海里の範囲内では4°C台が分布している。

②黒潮系暖水による目立った高水温はみられない。

③定地水温は、小名浜・松川浦では平年並み、大熊では平年より1°C低い。

見通し（1週間）

・親潮系冷水の波及が継続するでしょう。

漁況情報（底びき網、主要6港）

底びき網漁期の半分が経過しましたが、平成17年9月～平成18年1月までの漁模様をお知らせします。

金額上位種の漁獲量対比

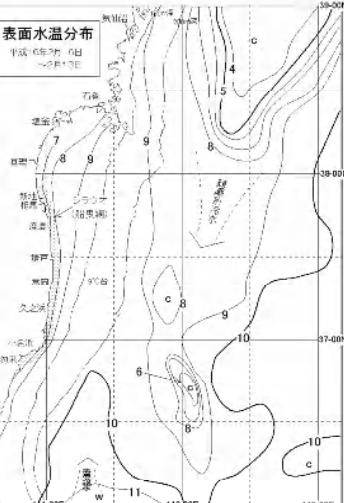
順位	魚種名	漁獲額(百万円)			漁獲量(t)		
		今期	前期	対前期比(%)	今期	前期	対前期比(%)
1	ヤナギダコ	209	205	102	607	947	64
2	マダラ	203	128	159	736	439	168
3	マガレイ	167	255	65	543	613	89
4	マアナゴ	103	110	93	155	244	64
5	ヒニメ	99	81	123	95	77	123
6	ヤナギムシカレイ	77	84	91	43	50	86
7	ミズダコ	67	91	74	143	249	58
8	ギンアンコウ	66	95	69	64	148	43
9	イシガレイ	63	35	178	125	52	241
10	マコガレイ	59	45	132	102	62	164

・今期の総漁獲量は約4,600 t（対前期比92%）、金額は約18億円（対前期比94%）でした。

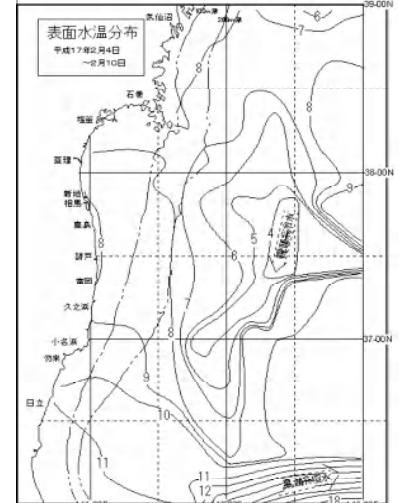
・漁獲金額トップ3はここ数年ヤナギダコ、マダラ、マガレイでほぼ定着していますが、漁獲量は前期に比べ、ヤナギダコが約340 t 減、マダラが約300 t 増、マガレイが約70 t の減となりました。

・ヤナギダコはいわき地区の減少が大きく、マダラはH16年生まれが多く特に相双での水揚げが増加しました。マガレイはH16年生まれが多いが、まだ小型であること、H15年生まれが少なかったことにより前期より減少しました。

平成16年同期



平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/3	9.9	8.0	6.4	11.2
2/6	8.6	6.5	6.4	10.5
2/7	8.7	7.2	6.5	10.5
2/8	8.9	8.1	6.3	10.6
2/9	9.2	8.4	5.8	9.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年2月3日

~2月9日

石巻

塩釜

亘理

新地
相馬

鹿島

請戸

富岡

久之浜

小名浜

勿来

日立

気仙沼

100m深

200m深

39-00N

38-00N

37-00N

141-00E

142-00E

143-00E

親潮系冷水

10

9

8

7

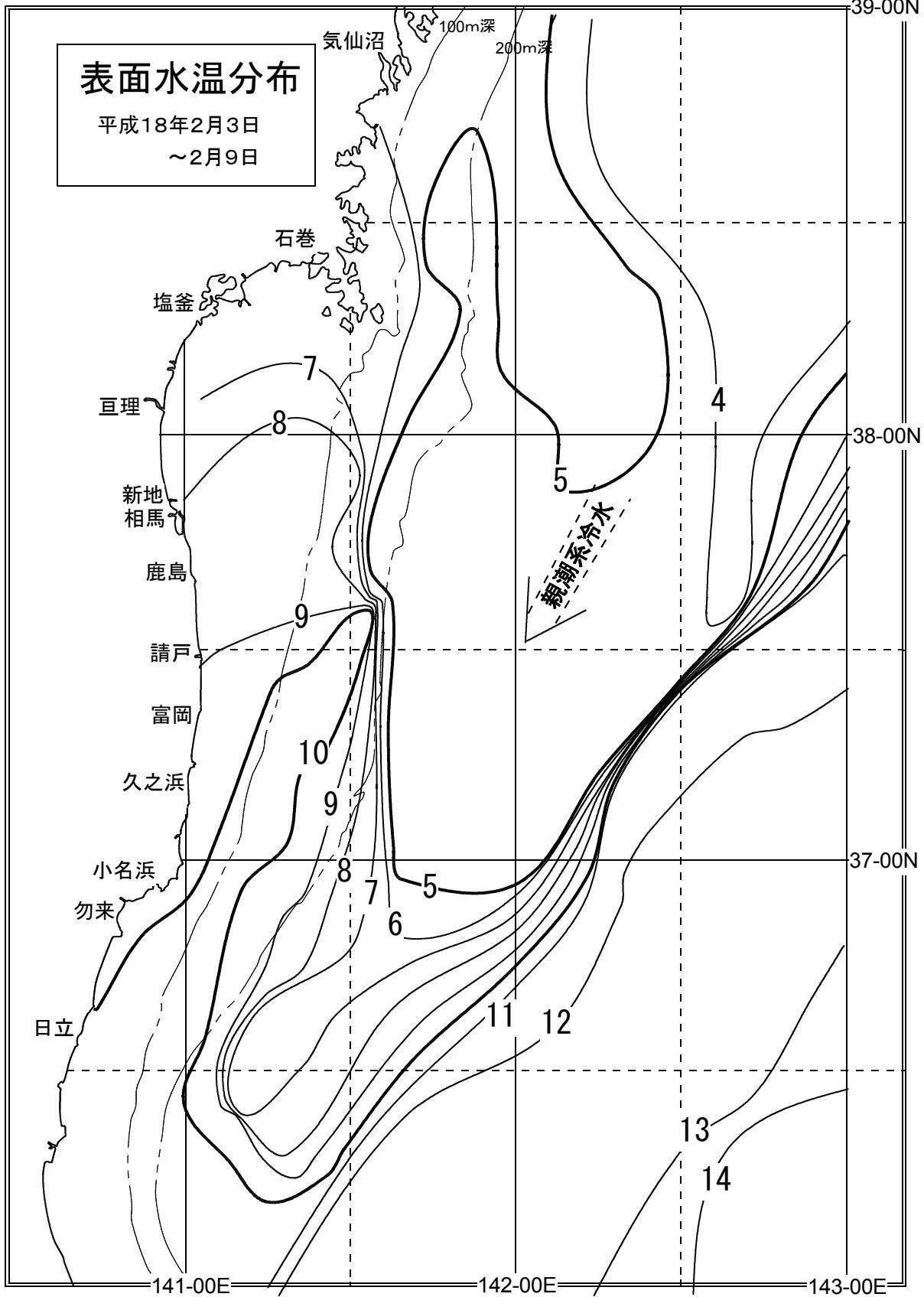
6

11

12

13

14



漁海況速報

No.7

平成18年2月17日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①本県沖30~50海里付近に親潮系冷水が波及し、小名浜沖40海里付近には2°C台がみられる。
- ②黒潮系暖水の波及は本県中南部海域沖50海里以沖にみられる。
- ③本県沖20海里より灘側は先週より変わらず8~9°C台が広くみられる。
- ④定地水温は、小名浜・大熊・松川浦とともに平年並み。

見通し（1週間）

- ・親潮系冷水の断続的な波及が継続するでしょう。

平成18年2月海洋観測結果

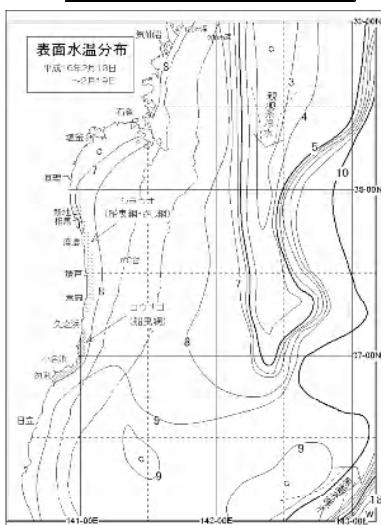
- ・平成18年2月13日~15日に調査船「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。

(単位: °C)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	7.90	+0.09	-2.73
	富岡	9.66	+1.97	+0.17
	鵜ノ尾	6.29	-1.24	-2.03
100m深	塩屋	6.03	-0.05	-3.21
	富岡	5.76	-1.52	-2.79
	鵜ノ尾	5.11	-0.60	-2.89

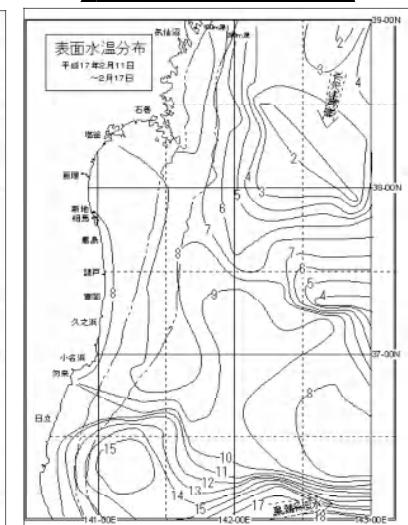
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・本県中南部海域の30~50海里付近から本県北部海域の30海里より沖合の広範囲にわたって親潮系冷水の強い波及がみられました。水温は全体的に降温傾向で、平年より低めでした。

平成16年同期



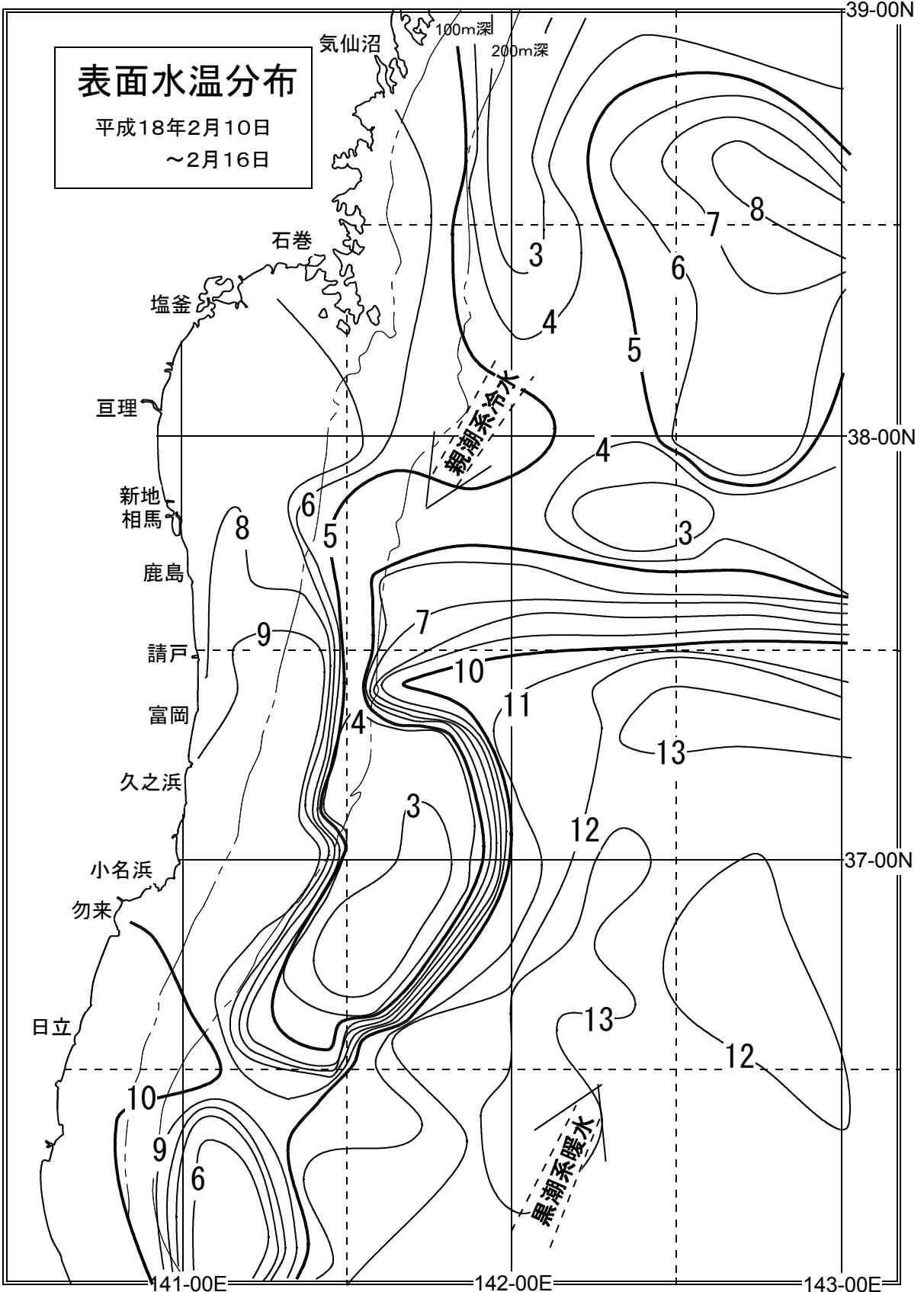
平成17年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/10	8.7	8.3	5.7	—
2/13	8.3	8.1	5.6	—
2/14	9.2	8.3	6.6	—
2/15	9.4	9.3	7.1	—
2/16	9.6	9.5	6.9	—

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)



漁海況速報

No.8

平成18年2月24日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①親潮系冷水の勢力は先週より弱まり、本県沖に5°C未満の水温は見られなくなった。
- ②黒潮系暖水の勢力は先週より強まり、本県中南部海域沖30海里より沖合は10°C台以上に広く覆われている。
- ④定地水温は、小名浜は平年並み、大熊は1°C低く、松川浦は1°C高い。

見通し（1週間）

- ・親潮系冷水の断続的な波及が継続しますが、ところにより沖合よりの暖水波及が表面ではみられるでしょう。

平成17年度東北海区海況予報第5号

・独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所・東北区水産研究所とりまとめにより平成18年2月21日に発表されました標記予報をお知らせいたします。

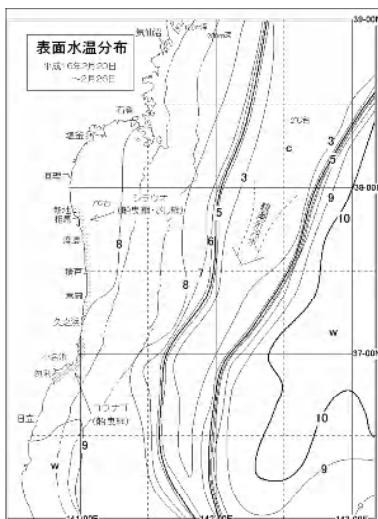
<<今後の見通し（2006年3月中旬）>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、著しく南偏～かなり南偏（35°N～35°30'N）で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや南偏で推移する。
- (3)釧路沖、常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しが、かなり南偏（37°N～37°30'Nまで）で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しが、平年並（142°10'E付近まで）で推移する。

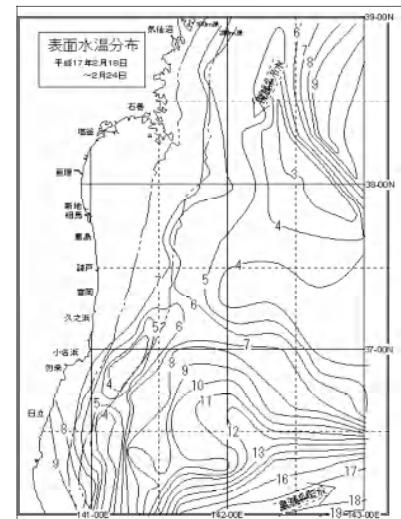
<<福島県沿岸水温の見通し>>

50海里以内の沿岸は、2月は低め～やや低め、3月以降はやや低め～平年並みで推移すると予想される。

平成16年同期



平成17年同期



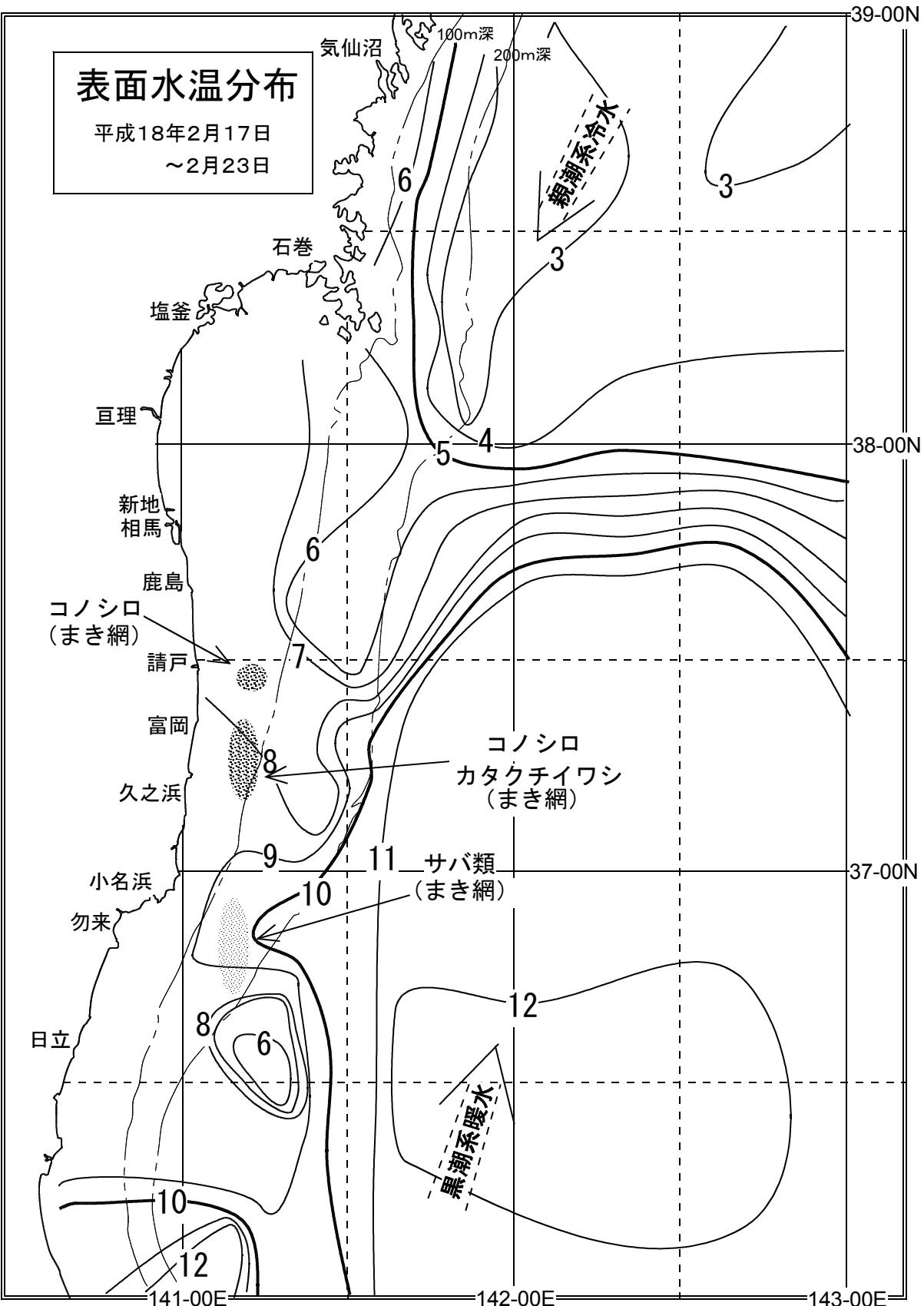
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/17	9.0	8.3	6.7	10.3
2/20	9.1	7.5	7.1	8.1
2/21	9.2	8.2	7.2	8.3
2/22	9.2	7.9	7.4	7.2
2/23	9.6	7.6	8.0	7.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

表面水温分布

平成18年2月17日
～2月23日



漁海況速報

No.9

平成18年3月3日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①相馬沖50海里付近に親潮系冷水の波及がみられ、2°C台の水温がみられるが、中南部海域では目立った冷水の分布はみられなくなった。

②黒潮系暖水の勢力は先週並みだが、本県南部海域付近で先週より接岸した。

③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦ともに平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年3月海洋観測結果

- 平成18年2月28日～3月1日に調査船「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。(塩屋崎・富岡定線のみ、鵜ノ尾崎定線は後日観測予定)
- 観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。

		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	10.76	+4.29	+1.32
	富岡	9.37	+3.46	+1.27
100m深	塩屋	10.66	+5.17	+2.54
	富岡	10.35	+5.55	+2.90

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- 先月中旬頃の観測にてにみられた親潮系冷水の波及は今回の観測範囲である本県中南部海域付近にはみられませんでした。
- 沖合からの暖水波及が強まった様子が確認され、塩屋崎では距岸40海里、富岡沖では50海里より沖合で表面から150m深付近まで10°C以上の水温がみられました。
- 2定線とも水温は平年より高めとなりました。

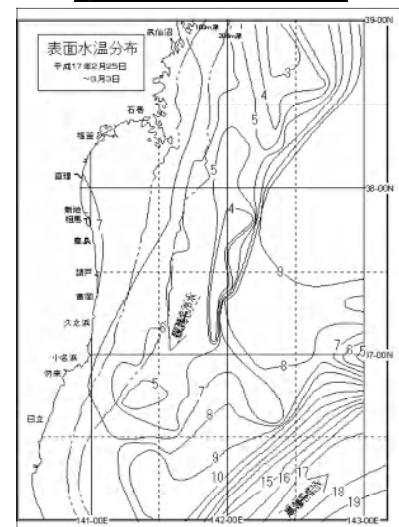
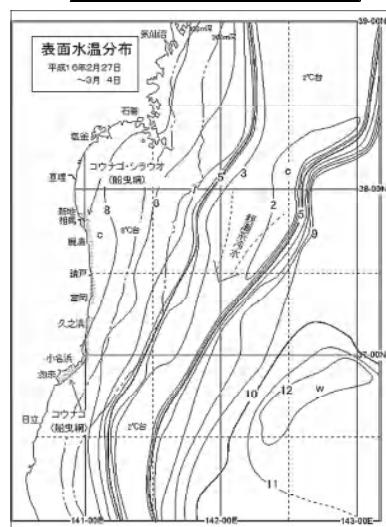
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

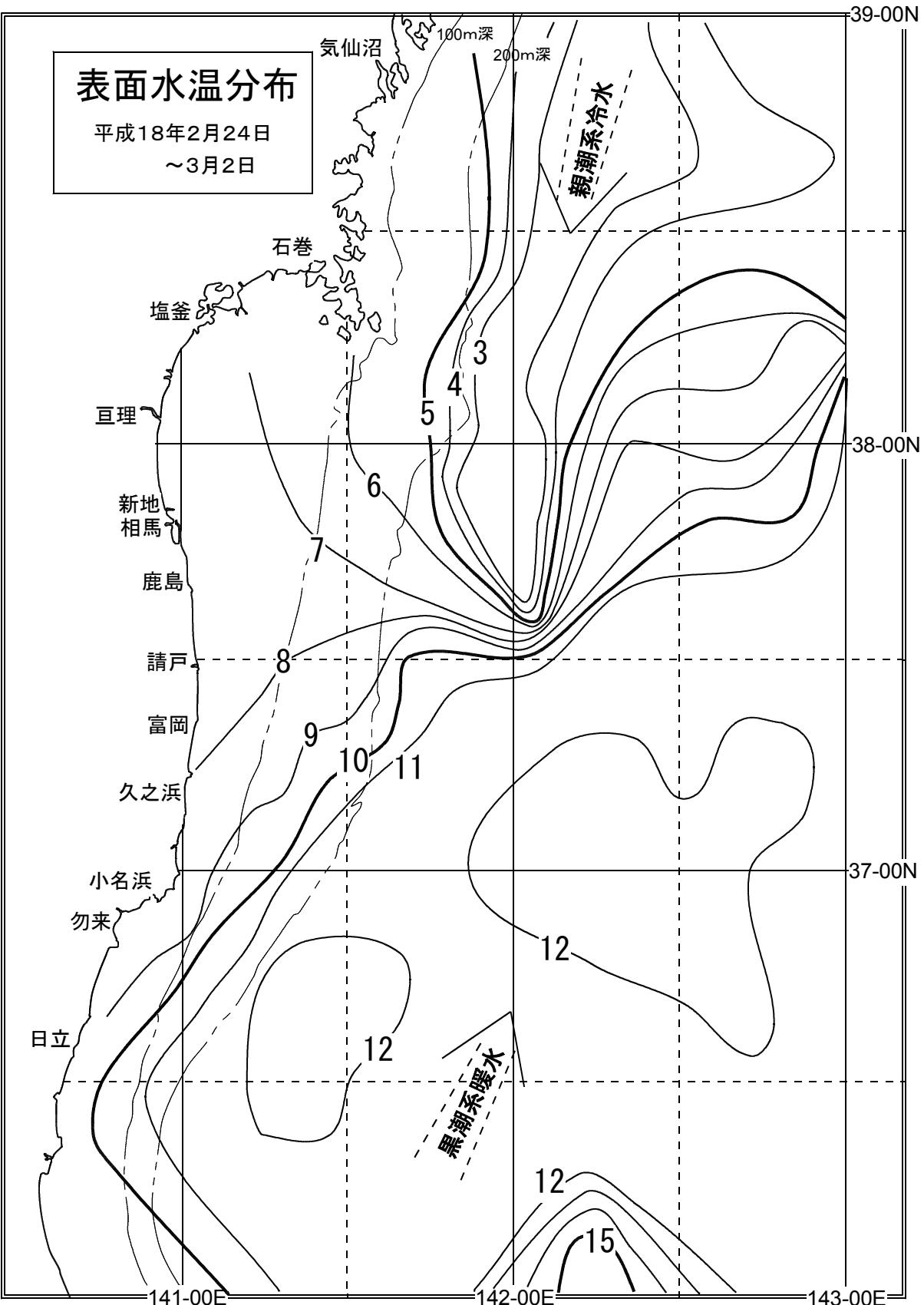
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/24	9.3	8.4	7.7	7.0
2/27	9.2	8.3	6.3	8.4
2/28	8.4	7.9	6.0	8.5
3/1	8.8	8.2	6.2	8.9
3/2	8.7	7.8	6.5	8.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



表面水温分布

平成18年2月24日
～3月2日



漁海況速報

No.10

平成18年3月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①先週みられた本県北部海域沖への親潮系冷水の波及はみられなくなった。

②黒潮系暖水は先週より北へ波及し、本県沖距岸20~30海里より沖合は広く10°C以上に覆われた。

③定地水温は、小名浜、松川浦は平年並み、大熊は1°C低い。

見通し（1週間）

・北部海域では断続的な親潮系冷水の波及がみられるでしょう。

平成17年主要漁業種・魚種別属地水揚状況（速報値）

・平成17年の福島県属地水揚の集計がまとまりましたのでお知らせいたします。

漁業種類別水揚量・金額

漁業種類	数量(t)			金額(百万円)		
	平成17年	平成16年	17年/16年	平成17年	平成16年	17年/16年
沖合底びき網	7,633	8,593	0.89	3,030	3,075	0.99
小型機船底びき網	1,440	1,778	0.81	556	571	0.97
機船船底びき網	8,054	9,896	0.81	1,815	1,022	1.78
まき網	21,864	17,197	1.27	2,509	3,105	0.81
固定式さし網	2,224	2,231	1.00	1,433	1,487	0.96
さんま棒受網	3,693	3,523	1.05	151	182	0.83
その他の漁業	4,820	4,539	1.06	2,173	2,298	0.95
合計	49,729	47,758	1.04	11,667	11,741	0.99

主要魚種別水揚量・金額

	数量(t)			金額(百万円)		
	平成17年	平成16年	17年/16年	平成17年	平成16年	17年/16年
カツオ	15,095	8,784	1.72	2,503	2,581	0.97
コウナゴ	2,987	2,194	1.36	897	635	1.41
シラス	1,868	41	45.67	680	27	25.03
ヤナギダコ	1,852	2,968	0.62	559	612	0.91
ミズダコ	976	1,239	0.79	491	516	0.95
マダラ	1,867	1,675	1.12	472	363	1.3

・水揚金額はほぼ昨年と比較して同様でしたが、船びき網はコウナゴ・シラス漁の好漁により昨年比で約1.8倍でした。水揚数量は、全体では昨年よりやや増加しましたが、ミズダコ・ヤナギダコの減少により、底びき網では減少しました。

平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/3	8.4	7.7	6.4	-
3/6	8.5	7.5	6.9	-
3/7	8.7	7.4	7.2	-
3/8	8.8	7.6	7.3	-
3/9	8.7	7.7	7.3	-

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

